議案第 66 号

甲府市上九一色定住促進住宅条例の一部を改正する条例制定について
甲府市上九一色定住促進住宅条例の一部を改正する条例を次のように定める。

令和 7 年 6 月 6 日提出

甲府市長 樋 口 雄 一

甲府市上九一色定住促進住宅条例の一部を改正する条例

甲府市上九一色定住促進住宅条例（平成 17 年 12 月条例第 73 号）の一部を次のように改正する。

第 5 条中「できる者は、」の次に「入居の申込み時及び入居時に」を加え、同条各号を次のように改める。

(1) 次のいずれかに該当する者であること。

ア 現に同居し、又は同居しようとする者に 18 歳に達する日以後の最初の 3 月 31 日までの間にある者がいること。

イ その者又は現に同居し、若しくは同居しようとする配偶者（婚姻の届出をしないが事実上婚姻関係と同様の事情にある者その他婚姻の予約者を含む。）のいずれかが 39 歳以下の者であること。

ウ その者又は現に同居し、若しくは同居しようとする者のいずれか（単身での入居を予定している場合は、その者に限る。）が甲府市梯町又は甲府市古関町で就労をしている者（入居の申込み時まで就労を開始し、かつ、当該就労を継続している者に限る。）又は就労を開始することが明らかである者であり、かつ、当該就労をしている者又は当該就労を開始することが明らかである者が 39 歳以下の者であること。

(2) 次のいずれにも該当する者であること。

ア 市町村民税又は特別区民税を滞納していない者であること。

イ その者又は現に同居し、若しくは同居しようとする者が暴力団員による不

当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第6号に規定する暴力団員（以下「暴力団員」という。）でないこと。

別表中「同居人として、小学校に通学する児童、次の年度において小学校に就学させる幼児又は中学生（小学校を卒業後引き続き中学生となった者に限る。）」を「同居者として15歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者」に、「同居人である児童、中学生がすべて」を「同居者に15歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者が全て」に改める。

附 則

この条例は、令和7年7月1日から施行する。

提案理由

上九一色定住促進住宅への入居の促進を図るため、入居することができる者の条件等に係る所要の改正を行うについては、この条例を制定する必要がある。これが、この条例案を提出する理由である。